

菅原 雅枝

SUGAHARA, Masae



[共同研究]

- 外国人児童生徒への教科指導モデルの開発プロジェクト
日本語力が十分ではない児童生徒を含む学級での教科指導実践とその検討を通して、在籍学級での学習を中心とした外国人児童生徒に対する教科指導モデルの開発をおこなう。

[科研費等の研究]

- 「JSL児童生徒に配慮した教科指導のための教員支援モデル構築に向けた調査研究」(基盤研究C)(研究代表:菅原雅枝) 母語話者と非母語話者が混在する学級での教科指導および担当教員研修に関する海外事例を検討し、国内の教員を支援するモデルの構築を目指すものである。
- 「地域・家庭の言語環境と日本生育外国人児童のリテラシー発達に関する調査研究」(基盤研究B)(研究代表齋藤ひろみ) 日本で生まれた、あるいは幼少期から日本で育っている外国人児童のリテラシーの発達に関し、その重要な要素である書く力の発達を、かれらの作文の分析を通して明らかにし、その言語環境に照らして検討することを目的とした研究である。

[研究業績]

1. 分担執筆

- 菅原雅枝(2014) 授業・学力に関する事例、咲間まり子編『多文化保育・教育論』、(株)みらい、pp.60-69

2. 報告書

- 第15回外国人児童生徒教育フォーラム『『特別の教育課程による日本語指導』を考える2 - 各地のはじめの一步、そしてこれから』東京学芸大学国際教育センター、2015年3月

3. 学会発表

- 2014年度日本語教育学会春季大会、ポスター発表「日本生育外国人児童文法力の発達に関する縦断研究-作文に現れた誤りの分析を通して-」(創価大学、平成26年6月1日) 共同発表者:阿部志野歩、田中瑞葉、内田紀子、鳶田陽子、齋藤ひろみ、森篤嗣
- 2014年度異文化間教育学会、共同発表「日本生育外国人児童の文章構成力の発達に関する研究-出来事作文の分析を通して-」(同志社女子大学、平成26年6月8日) 共同発表者:齋藤ひろみ、内田紀子、鳶田陽子
- 2014年日本語教育国際研究大会、ポスター発表「日本生育外国人児童の「表記の力」の縦断調査」(シドニー工科大学、平成26年7月11日)

[海外調査]

- 2014年7月、オーストラリア(シドニー)において、ESL児童生徒にかかわる教育及び現職教員研修についての情報収集を行った。
- 2014年11月、レスター・ノッティンガム(イギリス)において、EAL担当教員と教科担当教員の連携指導プログラムに関して情報収集を行った。

[講演会・研修会への参加]

- 葛飾区教育委員会主催「外国人児童のための学習支援ボランティア講座」において「中学生・高校生への日本語指導の方法」及び「外国人生徒へのインタビュー」を担当した。(2014年8月5日)
- NPO法人Jコミュニケーションズ主催「外国ルーツの子どもへの日本語学習支援者養成講座(実践編)」において、国内の外国人児童生徒支援に関する講義とワークショップを担当した。(2014年8月30日、31日、9月6日、7日)
- 三重県教育委員会「平成26年度JSLカリキュラム研修会」で講師を務めた。(2014年10月16日、12月4日)
- 川崎市総合教育センター主催「日本語指導等協力者研修会」において講師を務めた。(2014年12月18日)

[学内の活動]

- 東京学芸大学国際教育センター主催「JSL研修」を企画、運営(2014年5月10日・6月28日・10月11日)
- 東京学芸大学国際教育センター主催「外国人児童生徒教育フォーラム」を企画、運営(2014年10月4日)、報告書を発行(2015年3月25日)
- 東京学芸大学国際教育センター主催「サテライトセミナーin京都」(2014年7月31日)「サテライトセミナーin福岡」(2014年8月8日~9日)の企画補助及び講師
- HATOプロジェクト 先導的実践プログラム部門「外国人児童生徒学習支援プロジェクト(愛知教育大学)共同研究者

[主な学会活動]

- 日本語教育学会
- 異文化間教育学会
- 日英教育学会

[教育活動]

- 東京学芸大学教育学部において「外国人児童生徒教育の現状と課題」「外国人児童生徒教育」「教職入門」の講義を担当
- 東京学芸大学附属学校(大泉地区)において、帰国外国人児童生徒への日本語・学習支援